

令和3年度の実行政改行の組実績について

令和4年10月7日(金)
行政改革懇談会
【資料2】

第八次行政改革大綱の「4つの視点」ごとに実績を整理しました。

「協働」の視点	① 民間事業者との包括連携協定の締結 ・令和3年6月3日 日本郵便株式会社 ・令和3年6月3日 株式会社セブン-イレブン・ジャパン ② 大学連携の実施 ・龍谷大学連携事業「まちづくり論」・「まちづくり人材養成プログラム」の実施 ・インターンシップの受け入れ（龍谷大学、京都外国語大学、京都橘大学） ③ 市内企業の魅力情報発信 ・「りっとうお仕事図鑑2022」の配布 ④ フォトグランプリの実施・デジタルカレンダーの作成による市の魅力発信 ・「市制施行20周年うまいを撮ろう！うますぎる栗東フォトグランプリ」の実施 ・フォトグランプリ応募作品を活用したデジタルカレンダーの作成
「行政サービス」の視点	① 押印の見直し ・行政手続における押印の見直し（廃止） ② 行政手続きのオンライン化 ・オンライン（電子）申請の導入…7件 ③ 業務量調査の実施・事務事業の見直し ・日報管理の実施による業務量分析、適切な職員配置、組織再編の検討（令和3年8月～） ・日報管理を活用した事務事業の見直し検討（各課ヒアリングの実施）
「人材・組織力」の視点	① テレワークの導入 ・新型コロナウイルス感染症対応、働き方改革の一環としてテレワーク環境を整備 ② 業務量調査の実施・事務事業の見直し（再掲） ・日報管理の実施による業務量分析、適切な職員配置、組織再編の検討（令和3年8月～） ・日報管理を活用した事務事業の見直し検討（各課ヒアリングの実施）
「財源確保」の視点	① 中長期財政見通しを通じた大型事業のあり方検討 ・主要建設事業、制度改正に伴う費用、新規・臨時に必要な概ね500万円以上の事業を対象に各課ヒアリング ② ふるさと納税の更なる推進 ・クラウドファンディング型のふるさと納税の実施 I. マスコットキャラクターくりちゃんのレインコート・長靴の作成 目標額20.2万円 実績額23万円 II. 栗東市民体育館改修事業 目標額100万円 実績額108万円 ③ 企業版ふるさと納税の活用 ・株式会社フォレストアドベンチャー（東京都渋谷区） 寄附額20万円 ・大成興業株式会社（大阪府中央区） 寄附額100万円 ④ 国・県等の補助金の活用 ・地方創生推進交付金（道整備推進交付金）の活用（地域再生計画の申請）【事業期間：令和4年度～令和8年度】（出庭林線、東部六地藏東西線、金勝林道などの整備）